要保存

ライフジャケット
国土交通省型式承認品

ベルト型　　作業用救命衣(膨脹式)
（小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの）

取扱説明書

安全のため、使用前に必ず全てをお読み下さい。

販売元
東洋物産株式会社
東京都杉並区和田 3-53-14
Tel　03-3312-1471　Fax　03-3312-1560
URL：http://www.toyo-bussan.co.jp

製造元
日本救命器具株式会社
東京都江東区佐賀 1-1-4
Tel　03-3642-3296　Fax　03-3630-1201

はじめに

この度は、ライフジャケットベルト型（BJ-170/180）をお買い求め頂き、誠に有難うございました。本書では、製品を安全にご使用頂くための注意事項について説明しています。
ご使用前に、本書を必ずお読みの上、ご使用頂きますよう、お願い致します。

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全にご使用いただくための、重要な情報が記載されております。本製品をご使用になる前に、必ずお読み下さい。特に「安全上のご注意」を、必ずお読みになり、ご理解された上で、本製品をご使用下さいますようお願い致します。また、本書は、製品をご使用になるとき、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管しておいて下さい。

本製品の基準について

本製品は、船舶設備規定、及び小型船舶安全規則に基づく、作業用救命衣、小型船舶用救命胴衣の要件を満たしたものです。

説明書について

- 本書の内容の一部、または全部を無断で、転載する事は、禁止されております。
- 本書の内容について、将来予告なく変更する事があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、弊社又は取り扱い販売店まで御連絡下さい。

本書の表記について

●警告表示について

次の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人に加えられる恐れのある危険や損害を、未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読み下さい。

⚠危険	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷をおう危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意

⚠危険

●本製品は、救命補助具としての用途以外には使用しないでください。

●本製品は一人分の浮力しかありませんので、複数の人に対しての対応はできません。

●本製品は着用者の頭部を水面上に出す浮力を持ち、呼吸をしやすくする機能がありますが、生命の安全を保証するものではありません。（高波・うねりや体温低下には注意が必要です。）

●着用手順に従い着用してください。誤った方法で着用されますと、ライフジャケット本来の機能が損なわれる場合があります。（8～9 ページ参照）

●浮力体となる気室に傷をつけないでください。特に針には注意してください。気室に穴が開きますと、ボンベから充填したエアーが漏れ、本来の機能をはたす事ができません。着用中の転倒や針掛かり等で、気室や膨脹装置に傷や破損が見られる場合は直ちに確認し、エアー漏れがあった場合は、直ちに使用を中止し、新しいものと交換してください。

●本製品を分解又は改造しないでください。

●本製品は、落水後センサー(スプール)が感知して膨脹する仕様ですが、これは補助的な機能でありお客様の安全を素早く確保する意味で、落水時は手動にて手動索を引き膨脹させてください。万が一膨脹装置が作動しない場合は、外装布のマジックテープを外し、左気室側の吸気チューブより直接口で息を吹き込み気室を膨脹させる事ができます。

●膨脹装置を自動・手動にて一度作動させた場合は、ボンベ・スプール・安全ピンのパーツを必ず交換して使用してください。再使用はできません。なお自動で作動した場合は安全ピンの交換の必要はありません。

●お客様の安全を考慮し、ご購入後１年を経過した場合、スプール・ボンベ・安全ピンを交換してご使用ください。

●水中で浮遊する場合岩や鋭利な浮遊物等には、できるだけ近づかないでください。気室を傷つけ、使用できなくなる恐れがあります。磯では使用しないでください。

●泳げない方は、膨脹式の救命衣はお薦めできません。船上で膨脹させてから使用する以外は、固型式の救命胴衣をお薦めします。

●高所などの危険な場所では自動膨脹式の救命衣は使用しないで下さい。高湿度や雨などの水分で不意にセンサー（スプール）が作動することがあるので、大変危険です。

●救命衣に海水がかかった場合、ボンベ、スプールの順に外し真水で塩分を洗

い流して下さい。そのまま放置しますと、ボンベなどが腐食します。

⚠警告

●本製品を投げたり、落としたりしないでください。膨脹装置の故障や誤作動による不具合が生じる場合があります。

●煙草などの火気に近づけたり、針や突起物等の、鋭利な物による突き刺し・引っ掛けなどの破損には十分注意してください。着用前に鋭利な物（ピンオンリール・ピン付バッジ・ハサミ等）は取り外してから使用してください。気室に穴があき使用できなくなる恐れがあります。

●本製品を着用する前に、吹き込み口から空気を注入しないでください。膨脹装置が作動した時、気室内の圧力が過大になり、気室が破損し使用できなくなる恐れがあります。

●本製品を着用する場合は、必ず着衣の一番上に着用してください。本製品の上にバッグ等を着用したり、着衣の下（内側）に着用しますと、自動膨脹装置の作動が遅れたり、膨脹するスペースが制限される等で、本来の機能が阻害される恐れがあります。

●**膨脹装置**内部のスプールが、濡れると自動膨脹します。強い波や雨など水分が不意にスプール部に当たらないようにしてください。

●万が一、不意に膨脹する場合を想定し、予備のボンベ・スプール・安全ピンを携帯する事をおすすめします。

⚠注意

●ご使用前に必ず添付の取扱説明書（本書）を必ずお読みください。

●本製品を湿気の多い場所や、雨ざらしの場所・船上等で保管・放置しますと、センサー（スプール）が湿気を感知し自動膨脹しますので、保管時・着用しない時は、乾燥した場所で管理してください。また、直射日光・光源の当たる場所や、薬品・溶剤・油と接触する場所や熱源等の高温になる場所、ネズミ等の害を受ける場所では保管しないでください。

●着用する前に、バックル・胴締めテープ等の部品が、傷ついたり、破損したりしていないか必ず確認してください。

●本体が汚れた場合は、洗濯機で洗ったり、乾燥機・アイロンを使用しないでください。膨脹したり破損や劣化の原因となります。柔らかいスポンジ等に薄めた中性洗剤を染み込ませて、汚れた部分を拭き取る程度にしてください。

●本製品の上に座ったり、重いものを乗せないでください。トランクや車内での長期保管はしないでください。破損や劣化の原因となります。収納バックに入れハンガーに掛けて吊り下げて保管してください。

⚠警告

救命衣をお使いになる前に（必ず確認して下さい。）

ここでは、本製品をご使用になる前に必要な確認事項について説明致します。

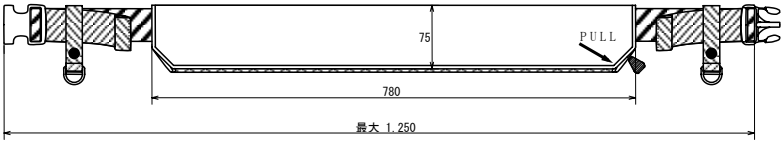
製品及び付属品を**ご使用前に必ず**確認してください。

万一不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 炭酸ガスボンベ（未使用品）は**確実に、緩まず膨脹装置に装着されていますか？ボンベにへこみや封板が破れて穴があいていませんか?→5 ページ名称図及び 6 ページ①**
- 手動索用レバーが安全ピンで正常にとめてありますか？→5 ページ名称図及び 6 ページ②
- スプール（水分感知具）は異常ないですか。作動軸（キャップ中央部の金属部）がへこむ事なく、正常な位置にありますか？→5 ページ名称図及び 6 ページ③
- 本製品の表示部に検定合格印（サクラマーク）が、押印されていますか？→下図㉔
- **膨脹装置のナットが緩んでいたり、外れていませんか？→5 ページ名称図及び 6 ページ構造図**

製品説明及び部品構成

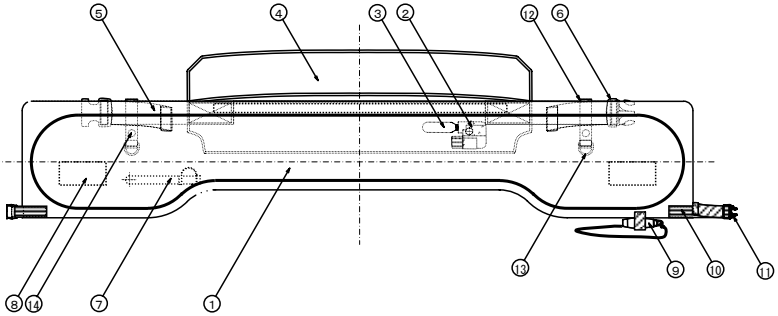
製品寸法(ベルト型)



主な規格及び性能

NO	項目	規格及び性能
1	タイプ	作業用救命衣（膨脹式）
2	型式名	ベルト 型
3	型式承認番号	第 4538 号
4	浮力	初期 11.1kg 24 時間後 10.1kg
5	サイズ	フリーサイズ
6	製品重量	660g
7	常用圧力	10mmHg（社内試験による耐圧性 150mmHg）

各部の名称(ベルト型)

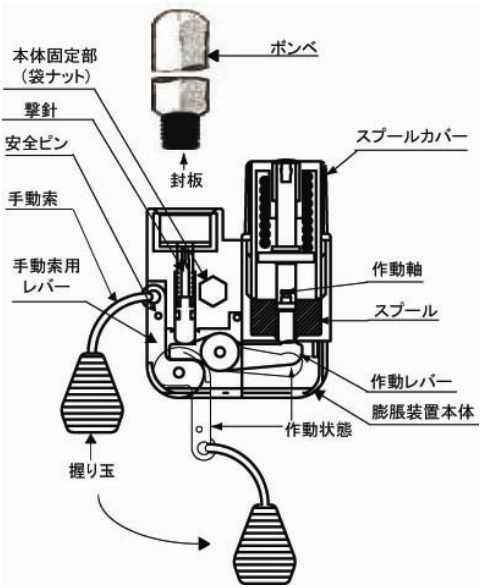


番号	材 料	材 質	規 格	番号	材 料	材 質	規 格
1	気室生地	ﾅｲﾛﾝｳﾚﾀﾝﾗﾐﾈｰﾄ	210d	8	再帰反射材	型式承認品	50×100mm
2	自動膨脹装置	ﾎﾟﾘｱｾﾀｰﾙ		9	呼び子笛	ABS	
3	炭酸ｶﾞｽﾎﾞﾝﾍﾞ	CO2		10	固定ﾍﾞﾙﾄ	ﾅｲﾛﾝ	25mm 幅
4	保護ｶﾊﾞｰ	ﾅｲﾛﾝｳﾚﾀﾝﾗﾐﾈｰﾄ	210d	11	固定ﾊﾞｯｸﾙ	ﾎﾟﾘｱｾﾀｰﾙ	25mm 幅
5	腰ﾍﾞﾙﾄ	ﾅｲﾛﾝ	50mm 幅	12	ﾍﾞﾙﾄ通し	ﾅｲﾛﾝ	25mm 幅
6	ﾊﾞｯｸﾙ	ﾎﾟﾘｱｾﾀｰﾙ	50mm 幅	13	D 環	ﾎﾟﾘｱｾﾀｰﾙ	25mm 幅
7	呼気ﾁｭｰﾌﾞ	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ		14	ﾄﾞｯﾄﾎﾞﾀﾝ	樹脂製	

自動膨脹装置
構造図及び部品名称

膨脹装置　構造図

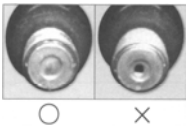
本装置は、水分を感知するスプール、スプールカバー、手動索用レバー、撃針等により構成された装置に、炭酸ガスボンベを装着することにより機能する構造になっています。本装置は、スプール（水分感知具）が水没することにより、スプール内の材料が溶解し、作動軸が開放され、この事により作動レバーが押され撃針を押し上げることでボンベの封板を破り、ボンベ内の炭酸ガスが気室に充填される仕組みになっています。
また手動索を引っ張ることにより、作動レバーを持ち上げ、前記と同様に撃針を介してボンベの封板を破ることもできる、自動、手動兼用の装置です。



⚠危険

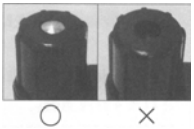
自動膨脹装置点検確認（ご使用前に必ず確認してください。）

① ボンベは、未使用のものが取り付けてあること。
（ボンベを取り外し、ボンベの封板に穴があいていないか、ガスは漏れていないか確認する。）



② 安全ピンが外れていないこと、また、手動索用レバーが、下方におりていないこと。（撃針が出て、ボンベに穴をあけている可能性があります）

③ スプールカバーの中央の、作動軸が引っ込んでいないこと。（スプールがセットされていないか、使用済みの可能性があります）



④ その他、ナット等の締めつけ部に緩みの無い事。
（膨脹時にガスが漏れる可能性があります）

上記の項目を満たしていない場合は、使用しないで販売店にご相談下さい。

⚠注意

保管方法及びメンテナンス

保管及びメンテナンスにあたっては、次のことに注意してください。

1. 高温、多湿及び直射日光の当たる場所での保管は避けてください。膨脹装置に水分が一定以上入ると、自動的に膨脹しますので、誤作動のないように注意して下さい。
2. 外側の外装布は、気室布を保護する役割も兼ねています、オレンジの気室布が外装布から飛び出していると損傷の原因となりますので、必ず外装布の中に収まるようにしておいて下さい。
3. 1 年に 1 回は膨らませて、性能に問題ないか確認してください。
   炭酸ガスボンベ及びスプール（水分感知具、オレンジ色）は消耗品です。お客様の安全を自主的に確保する意味も含めて、ご購入後 1 年を目安に、安全を考慮しボンベ・スプールを交換してください。
   （ボンベセットはアフターパーツ対応です。詳しくは販売店にお問合せください。）

⚠危険

スプール(水分感知具)とガスボンベの交換、及び再セット方法

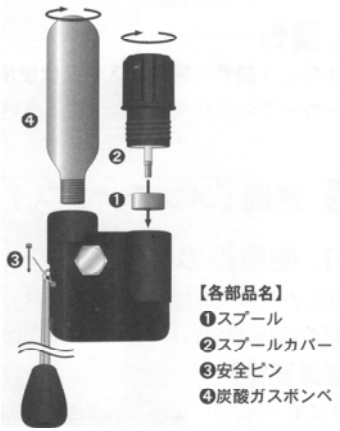
●本製品は、本体の構成部が破損しない限り、スプールとガスボンベを交換することにより、何度でも使用することが出来ます。必要な場合は次の方法で交換して下さい。（スプール及びガスボンベは、本製品を実際に膨脹させた場合又は、ご購入後 1 年経過した場合には交換してください。）

① 膨脹している場合はガスを抜いてください。
（ガスを抜く方法：9 ページ⑧）

② 使用済みのガスボンベを左に回して取り外してください。

③ スプールカバーを左に回してはずし、使用済みのオレンジ色のスプールを取り出してください。

④ 新しいスプールをセットし、スプールカバーをしっかりと締めてください。（スプールセット場所の中の水分はきれいに拭取っておく事、又スプールの上下は、どちらが上になっても関係ありません。）



⑤ 手動レバーが元の場所にきっちりと戻して安全ピンが折れていないことを確認してください。

⑥ 未使用のガスボンベを、右に回して、しっかりとねじ込んでください。

⑦ 10ページの正しい折りたたみ方のとおり、折りたたみ周囲のマジックテープを閉じて下さい。

⚠注意

製品･パーツの交換時期及び廃棄について

● 現在、ライフジャケットについての耐用年数は、国土交通省　型式承認基準としては設定されておりません。本製品は、使用頻度や、使用環境、並びに保管方法等により、万一、次のような兆候が製品に現れた場合や、極度に破損した場合は、速やかに新しいものと交換して下さい。

1. 外装布が摩耗したり、マジックテープが取れて、気室布を保護する事が困難になった場合。バックルが割れたり、ベルト部などの縫製部が切れて体を保持できない場合。
2. 自動膨脹装置にひび等が入り、気密性に問題が生じる可能性がある時。
3. 外装布の上から、鋭利なものが刺さったりして、気室布を破損してしまった場合。
4. 気室が熱や経時変化などにより劣化し、空気がもれる場合。
5. 廃棄される場合は、産業廃棄物またはお住まいの自治体の指示に従って処理して下さい。
6. **ご購入後 1 年経過した場合には、ボンベ･スプールは交換してください。**

⚠警告

着用方法及び使用方法について

① 刺繍やプリント･ワッペンなどを取り付けてある方が外側に、立体メッシュが体側に当たるように、ベルト胴衣を腰に巻く。

② 前でバックルをセット（カチッと音がするまで）して下さい。

③ 本体が抜けないように腰ベルトを調節し、強く締めて体にフィットさせて下さい。ベルト通しをずらして、ベルト端末を固定する。

④ 膨脹装置本体が 5 秒以上水没した場合、自動的に膨脹しますが、この機能はあくまで補助的なものであり、落水の状況によって膨らむまでに時間がかかる事もある為、お客様の安全を考慮し、着水後に、握り玉を持ち手動索を斜め下の方向に強く引っ張って膨脹させてください。

⚠注意 必ずバックルが前に来るように着用して下さい。必ず着水後に手動で手動索を強く引き膨脹させてください。

⑤ 膨脹すると、左右前面に気室が飛び出てきます。気室先端のバックルを止め、テープを締めます。

⑥ 腰ベルトを緩め、できるだけ脇の下に持ってくるとより安定した姿勢になります。

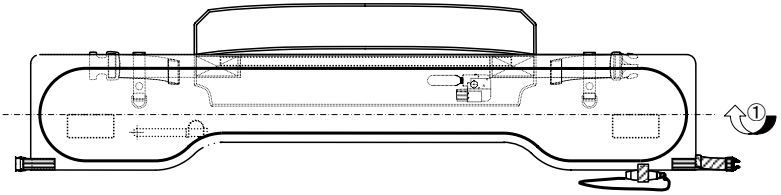
※ **水中では、絶対に腰ベルトを外さないで下さい。**

⑦ 膨らみが足りない場合は、吹き込みチューブから、強く息を吹き込んで膨らませてください。吹込みチューブは、気温、水温、時間の変化により、気室内の圧力が低下し、十分な浮力を得られることができない時使用するものです。また救助を求める場合はホイッスルを強く吹いてください。

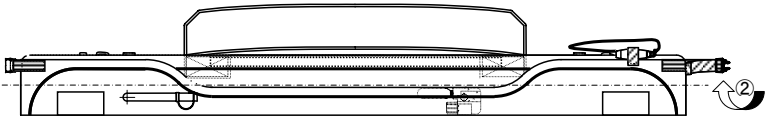
⑧ ガスを抜く場合は、吸気チューブキャップのつばの部分を吸気チューブに差し込むと逆止弁が押され、差し込んだ状態のまま膨脹している気室を押すと、充填されている気体を排出することができます。

⚠危険 **水中で使用中の場合は、絶対にガスを抜かないで下さい。**

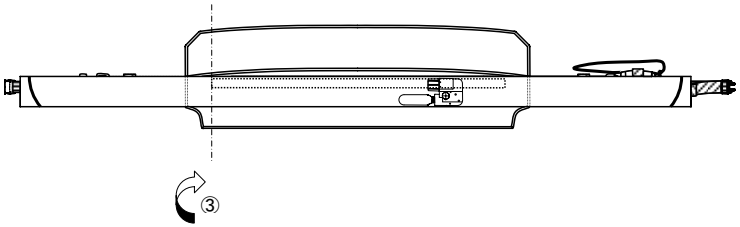
正しい折りたたみ方



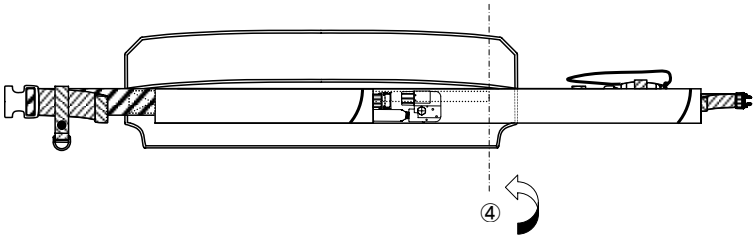
1. スプール及びボンベの再セットを確認してから、保護カバーを下にして置き、気室を上図①の位置で折る。



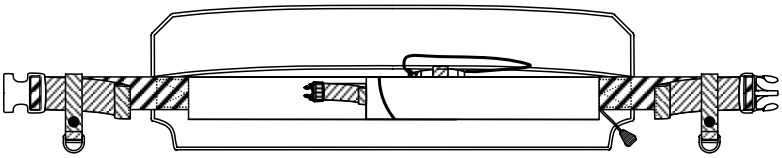
2. さらに、上図②の位置で折る。



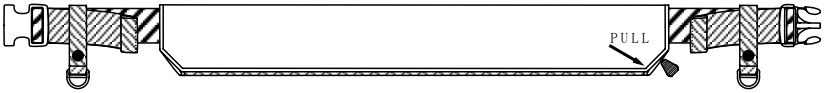
3. 腰ベルトと気室の縫い合わせ部（③の位置）で折る。



4. 次に反対側の腰ベルトと気室の縫い合わせ部（④の位置）で折る。



5. 気室を押さえたまま、保護カバーで気室を覆うようにマジックテープを止めていく。中央部から徐々に気室を収納しながらマジックテープを止めていくと折りたたみ易い。



6. 作動索の先端の握り玉が必ず保護カバーの外に出ていることを確認して下さい。